

小規模集落生活実態調査報告書

平成21年4月

石狩市浜益支所地域振興課

1 調査実施概要

1・調査の目的

区内における人口30人未満の集落(小規模集落と称する。)の地域ニーズを把握し、今後とも安全で安心な生活環境を維持する方策を検討するため調査を行う。

2・調査事項

- 1) 基本属性に関する事項
- 2) 日常生活に関する事項
- 3) 医療・福祉に関する事項
- 4) 地区(集落)に関する事項
- 5) 要望・その他

3・調査実施期間 平成21年1月26日(月)～2月12日(木)

雄冬地区は平成20年12月12日(金)に実施

4・調査対象地区の戸数及び人数(平成21年1月1日現在)

・雄冬	4戸(6人)	うち回答数	3戸(5人)
・千代志別	10戸(14人)	うち回答数	6戸(11人)
・床丹	10戸(11人)	うち回答数	6戸(7人)
・御料地	5戸(15人)	うち回答数	4戸(14人)
・送毛	11戸(23人)	うち回答数	8戸(18人)
	計40戸(69人)		27戸(55人)

調査対象戸数のうち回答を得られなかった世帯は、区内介護施設等に入所している方や住民登録のみで居住実態のない方であり、調査実施期間中に対象地区に居住する世帯からは100%の回答を得た。

5・調査方法

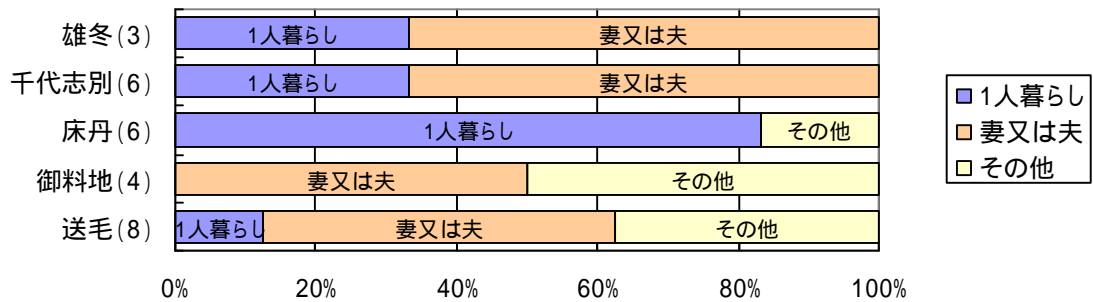
担当者2名1組による聞き取り調査(各自治会長宅には区長が同行)

2 調査結果

1 . 基本属性に関する事項

1) 家族構成 地区名の後の () 内は世帯数

図1 家族構成



集計結果

雄 冬 (3) : 1人暮らし (1) 妻もしくは夫と2人暮らし (2)

千代志別 (6) : 1人暮らし (2) 妻もしくは夫と2人暮らし (4)

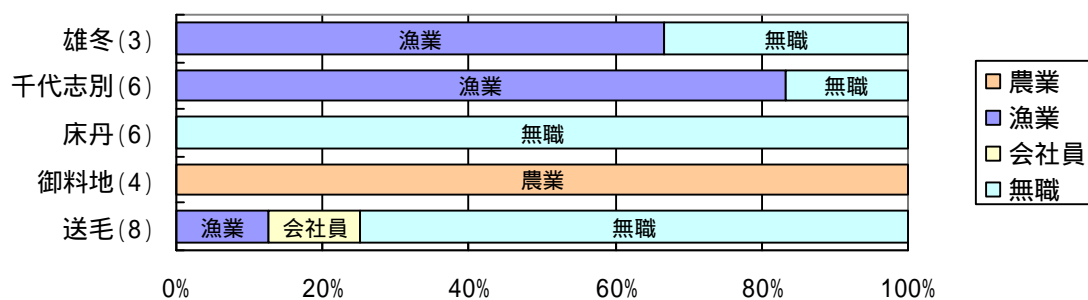
床 丹 (6) : 1人暮らし (5) その他 (親と2人暮らし) (1)

御 料 地 (4) : 妻もしくは夫と2人暮らし (2) その他 (配偶者と子、姉) (1) 親と配偶者と子 (1)

送 毛 (8) : 1人暮らし (1) 妻もしくは夫と2人暮らし (4) その他 (親子2人暮らし) (1) (親子4人
(1) 妻と母 (1)

2) 世帯主の職業 地区名の後の()内は世帯数

図2 世帯主の職業



集計結果

雄 冬 (3) : 漁業 (2) , 無職 (1)

千代志別 (6) : 漁業 (5) , 無職 (1)

床 丹 (6) : 無職 (6)

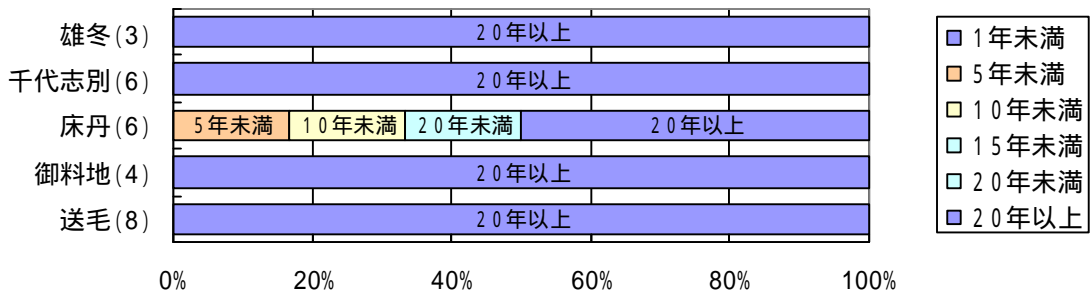
御 料 地 (4) : 農業 (4)

送 毛 (8) : 漁業 (1) , 会社員 (1) , 無職 (6)

古くから、雄冬・千代志別・床丹・送毛は漁業が、御料地は農業が主産業であったが、床丹では居住する住民がすべて無職であり、送毛でも無職が多数を占める。

3) 地区での居住年数 地区名の後の()内は世帯数

図3 地区での居住年数



集計結果

雄 冬 (3) : 2 0 年 以 上 (3)

千 代 志 別 (6) : 2 0 年 以 上 (6)

床 丹 (6) : 5 年 未 満 (1) , 1 0 年 未 満 (1) , 1 5 年 未 満 (1) , 2 0 年 以 上 (3)

御 料 地 (4) : 2 0 年 以 上 (4)

送 毛 (8) : 2 0 年 以 上 (8)

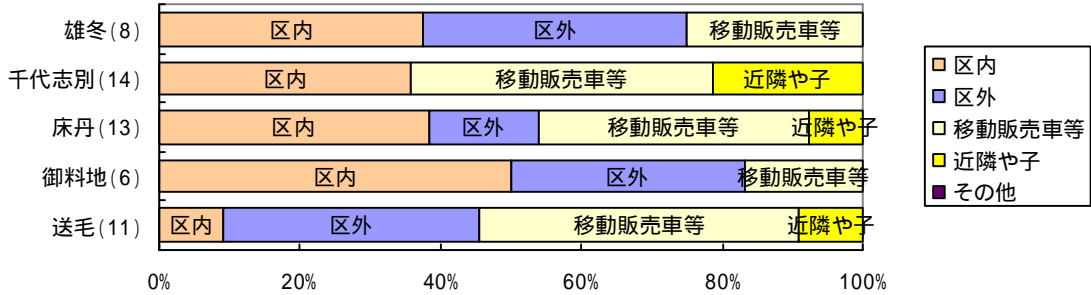
床丹を除く4地区では全ての世帯が20年以上居住しており、そのほとんどが生まれた時から住んでいると回答した。

床丹地区でも、退職後に戻って親と同居するなど、いわゆる新規住民ではない。

2. 日常生活に関する事項

1) 日用品や食料品などの購入場所 地区名の後の()内は回答の合計数

図4 日用品や食料品の購入場所



集計結果

雄 冬 (8) : 区内の商店 (3) 、 区外の商店 (3) 、 移動販売車等 (2)

千代志別 (14) : 区内の商店 (5) 、 移動販売車等 (6) 、 近隣や子に頼む (3)

床 丹 (13) : 区内の商店 (5) 、 区外の商店 (2) 、 移動販売車等 (5) 、 近隣や子に頼む (1)

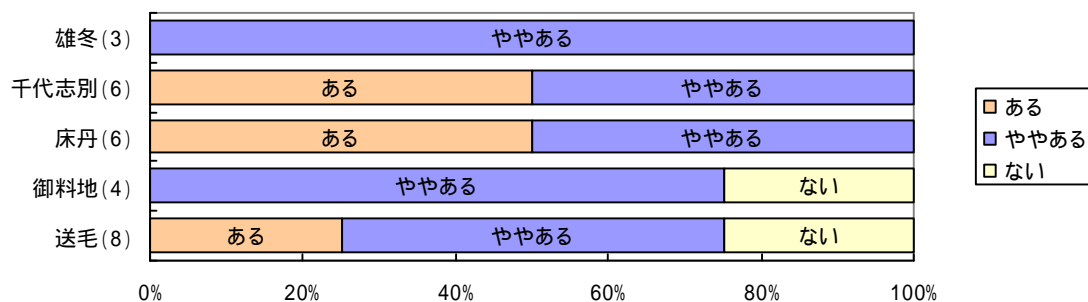
御 料 地 (6) : 区内の商店 (3) 、 区外の商店 (2) 、 移動販売車等 (1)

送 毛 (11) : 区内の商店 (1) 、 区外の商店 (4) 、 移動販売車等 (5) 、 近隣や子に頼む (1)

今回の調査対象のうち雄冬を除く4地区は地区に商店がない。聞き取り結果ではそれぞれ「区内」、「区外」、「移動販売者や配達サービス」を利用しているが、千代志別、送毛において、高齢で自家用車を所有しない世帯では移動販売車からの購入が多い。

2) 日常生活での心配ごとや不安の有無 地区名の後の()内は世帯数

図5 心配事や不安の有無



集計結果

雄 冬 (3) : やや心配や不安がある (3)

千代志別 (6) : 心配や不安がある (3) , やや心配や不安がある (3)

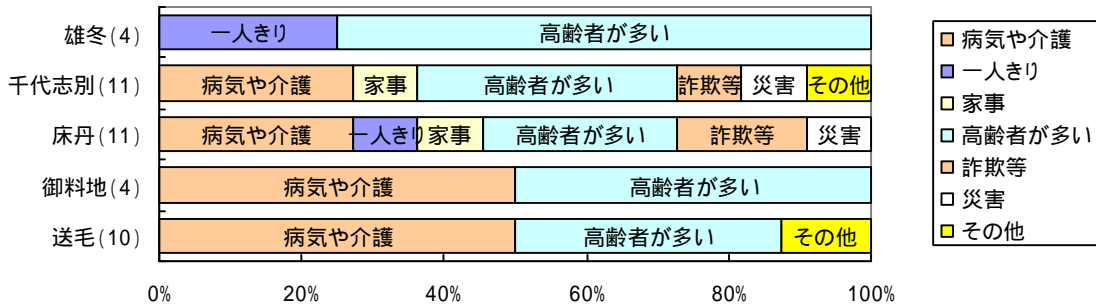
床 丹 (6) : 心配や不安がある (3) , やや心配や不安がある (3)

御 料 地 (4) : やや心配や不安がある (3) , 心配や不安はない (1)

送 毛 (8) : 心配や不安がある (2) , やや心配や不安がある (4) , 心配や不安はない (2)

3) 心配ごとや不安の内容(複数回答可) 地区名の後の()内は回答の合計数

図6 不安や心配事の理由



集計結果

雄 冬(4): 頼れる人がいなく一人きり(1)、若年層流出・高齢化(3)

千代志別(11): 病気や介護(2)、頼れる人がいなく一人きり(1)、家事が大変(1)、若年層流出・高齢化(4)、詐欺や犯罪(1)、地震・津波等(1)、その他(金銭面)(1)

床 丹(11): 病気や介護(3)、頼れる人がいなく一人きり(1)、家事が大変(1)、若年層流出・高齢化(3)、詐欺や犯罪(2)、地震・津波等(1)

御 料 地(4): 病気や介護(2)、若年層流出・高齢化(2)

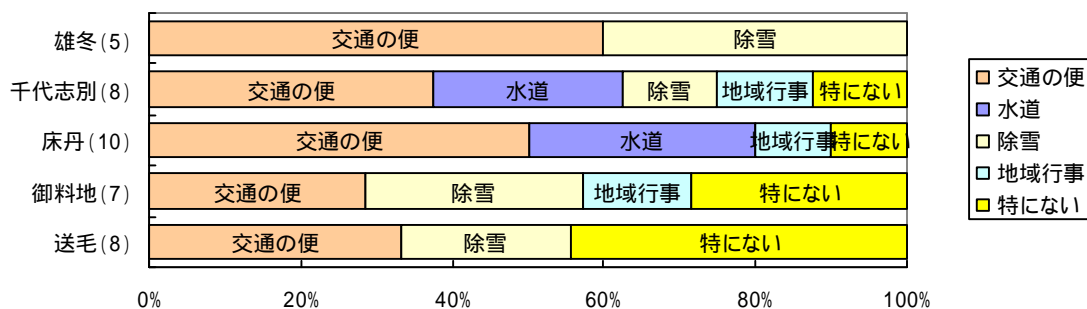
送 毛(10): 病気や介護(5)、若年層流出・高齢化(3)、その他(金銭面)(2)

いずれの地区でも日常生活での不安として「若い人が減り、高齢者が多くなること」を挙げており、次いで「自分や家族の健康」に不安を感じていることが伺える。

「だまされたり、犯罪に巻き込まれること」を不安に感じていると回答した世帯もあるが、実際に詐欺等にあった例はなかった。

4) 地区で生活するうえで困っていること(複数回答可) 地区名の後の()内は回答の合計数

図7 困っていること



集計結果

雄 冬(5): 交通が不便(3)、除雪(2)

千代志別(8): 交通が不便(3)、水道の維持管理(2)、除雪(1)、地域行事の運営(1)、特になし(1)

床 丹(10): 交通が不便(5)、水道の維持管理(3)、地域行事の運営(1)、特になし(1)

御 料 地(7): 交通が不便(2)、除雪(2)、地域行事の運営(1)、特になし(2)

送 毛(8): 交通が不便(2)、除雪(2)、特になし(4)

いずれの地区も「交通が不便」を挙げており、自家用車を所有する世帯の少ない地区において割合が高い。特に浜益～札幌間の路線バスについては、乗車できない(停車しない)地区において不便さを感じている世帯が多い。

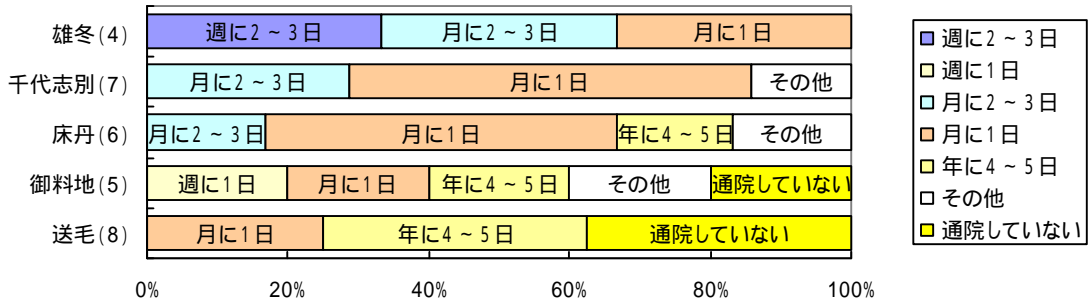
簡易水道が整備されていない千代志別、床丹の両地区において「水道の維持が困難」を挙げており、施設老朽化によって維持管理費が増大していることや衛生面での安全性に不安を感じている様子が伺える。

意外にも送毛地区で4世帯が「特にない」を挙げています。将来への不安は感じているが、現在の生活に大きな不満は感じていないと考えられる。

3. 医療・福祉に関する事項

1) 通院の頻度 地区名の後の()内は回答の合計数

図8 通院の頻度



集計結果

雄 冬(4): 週に2~3日(2)、月に2~3日(1)、月に1日(1)

千代志別(7): 月に2~3日(2)、月に1日(4)、その他(年に1回)(1)

床 丹(6): 月に2~3日(1)、月に1日(3)、年に4~5回(1)、その他(不定期)(1)

御 料 地(5): 週に1日(1)、月に1日(1)、年に4~5回(1)、その他(入院中)(1)、通院していない(1)

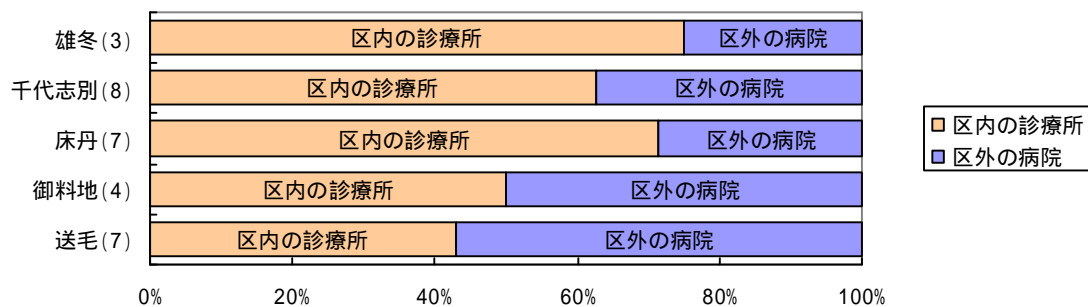
送 毛(8): 月に1日(2)、年に4~5回(3)、通院していない(3)

「ほとんど毎日」と回答した世帯はなし。

「月に1日」と答えた割合が最も多い。

2) 通院先 地区名の後の()内は回答の合計数

図9 通院先



集計結果

雄 冬 (3) : 区内の診療所 (3) 区外の病院 (1)

千代志別 (8) : 区内の診療所 (5) 区外の病院 (3)

床 丹 (7) : 区内の診療所 (5) 区外の病院 (2)

御 料 地 (4) : 区内の診療所 (2) 区外の病院 (2)

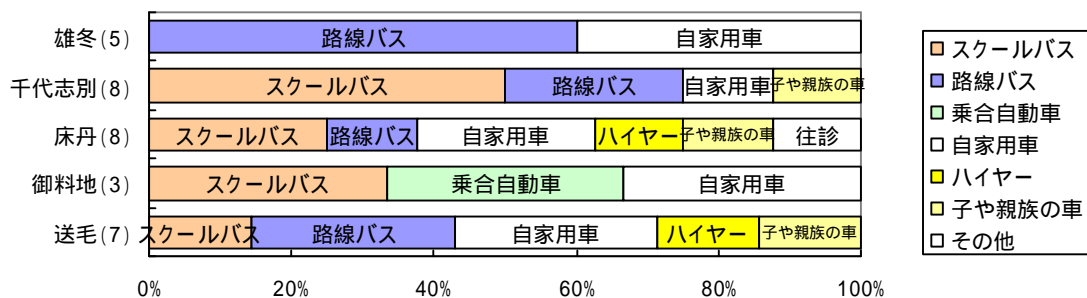
送 毛 (7) : 区内の診療所 (3) 区外の病院 (4)

全体では区内と区外の通院割合がほぼ同じ。

区外の通院先と回答した方は、ほとんどが滝川もしくは札幌の病院等。旧石狩地区と回答した方はいない。

3) 通院の交通手段 地区名の後の()内は回答の合計数

図10 通院の交通手段



集計結果

雄 冬 (5) : 路線バス (3) 自家用車 (2)

千代志別 (8) : スクールバス (4) 路線バス (2) 自家用車 (1) 子や親族による送迎 (1)

床 丹 (8) : スクールバス (2) 路線バス (1) 自家用車 (2) ハイヤー (1) 子や親族による送迎 (1)
 その他 (往診) (1)

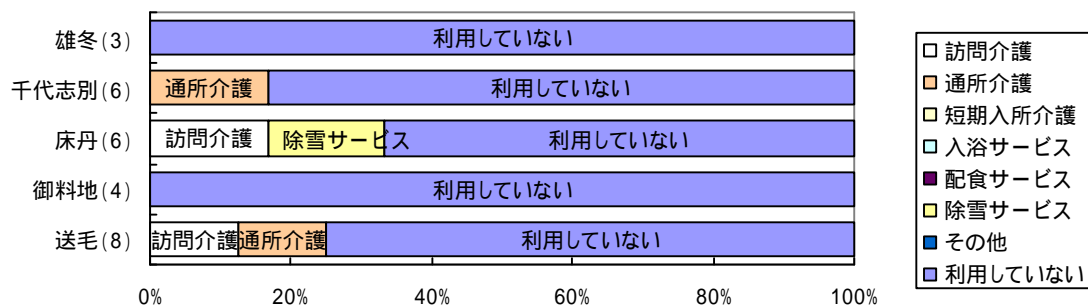
御 料 地 (3) : スクールバス (1) 滝川浜益間乗合自動車 (1) 自家用車 (1)

送 毛 (7) : スクールバス (1) 路線バス (2) 自家用車 (2) ハイヤー (1) 子や親族による送迎 (1)

区内の診療所等への通院はスクールバス混乗便を利用しているケースが多い。(スクールバス混乗便ができて便利になったとの声多数あり。)

4) 福祉サービスの利用状況 地区名の後の()内は回答の合計数

図11 福祉サービスの利用状況



集計結果

- 雄 冬 (3) : 利用していない (3)
- 千代志別 (6) : 通所介護 (1) 利用していない (5)
- 床 丹 (6) : 通所介護 (1) 除雪サービス (1) 利用していない (4)
- 御 料 地 (4) : 利用していない (4)
- 送 毛 (8) : 訪問介護 (1) 通所介護 (1) 利用していない (6)

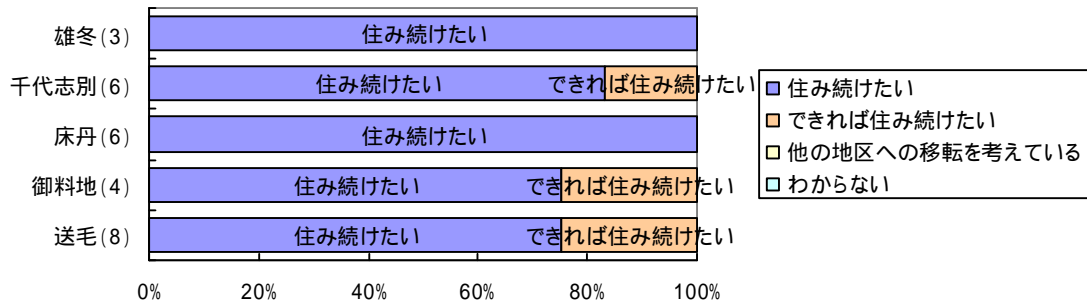
調査世帯のほとんどが福祉サービスを利用していない。このことから元気な高齢者が多いことが伺える。

除雪サービス利用の潜在的な意識は多いと思われるが、作業実施者への遠慮からか、申し込まない傾向が見受けられる。

4. 地区（集落）に関する事項

1) 現在の居住地区に住み続けたいか 地区名の後の（ ）内は世帯数

図12 現在の居住地区に住み続けたいか



集計結果

雄 冬 (3) : 住み続けたい (3)

千代志別 (6) : 住み続けたい (5) , できれば住み続けたい (1)

床 丹 (6) : 住み続けたい (6)

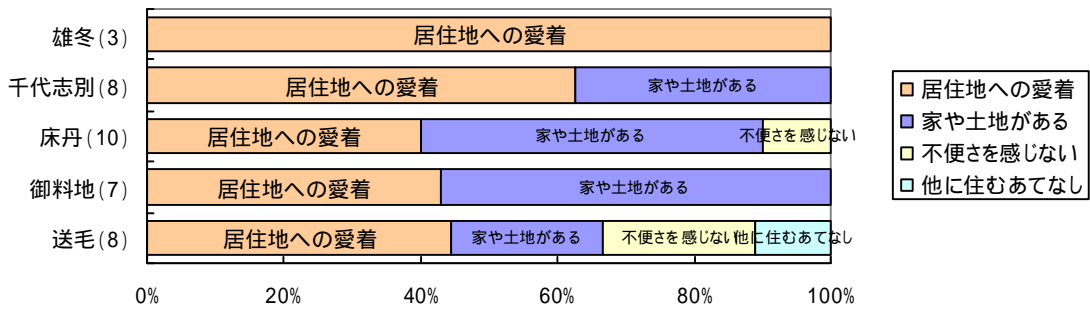
御 料 地 (4) : 住み続けたい (3) , できれば住み続けたい (1)

送 毛 (8) : 住み続けたい (6) , できれば住み続けたい (2)

調査世帯全てが、いま住んでいる地区に「住み続けたい」、「できれば住み続けたい」と解答しており、「他の地区への移転」を考えている世帯はない。

2) 住みたい理由 (複数回答可) 地区名の後の()内は回答の合計数

図13 住みたい理由



集計結果

雄 冬(3): 居住地への愛着(3)

千代志別(8): 居住地への愛着(5)、自分の土地や家がある(3)

床 丹(10): 居住地への愛着(4)、自分の土地や家(5)、不便を感じない(1)

御 料 地(7): 居住地への愛着(3)、自分の土地や家(4)

送 毛(8): 居住地への愛着(4)、自分の土地や家(2)、不便を感じない(2)、他に住むあてなし(1)

「住みたい」、「できれば住みたい」と答えた理由として多いのは、「この土地に愛着があるから」と、「自分の家や土地があるから」がほとんどを占める。このことから永年住み慣れた地区(自分の家、土地)への強い愛着が感じられる。

5 . 要望・その他

1) いま一番困っていること (自由回答)

- ・ 越波による通行止め。
- ・ 健康に対する不安。
- ・ バスが不便。
- ・ 交通の便。(千代志別～幌間)
- ・ 札幌までの通院時に(発着場所の)幌までの移動手段がない。
- ・ 越波による通行止め時の急病者への対応。
- ・ 沿岸バスが停車してほしい。
- ・ 区内便が週に2回(午後が不便)何箇所も用事が足せない。
- ・ 水道施設の維持管理が困難。
- ・ 家族の将来の介護。
- ・ 老人問題、高齢者対策について。
- ・ 水道施設の老朽化。
- ・ 早い時間の検診(区の住民検診など)に車がなくて行けない。
- ・ 雪が多い地区なので除雪が大変。
- ・ 75歳になると息子の社会保険の扶養から外れる。少ない年金から長寿医療制度保険料を引かれるので心配。
- ・ 金銭面。
- ・ 高齢で除雪が大変、夫も病気がち。
- ・ 水道の水圧が弱い、シャワーも使えないくらい。
- ・ まきストーブなので、まきが足りなくなると困る。
- ・ 鹿とアライグマによる被害。
- ・ 冬に水道が凍結するので出っぱなしにしている。

2) この地区(集落)で生活するうえで、市役所(支所)に望むこと

- ・ 交通手段を充実してほしい。(札幌方面)
- ・ バス便数の拡充を望む。
- ・ 水道施設改修の検討をしてほしい。
- ・ 船揚場の改修(テトラポッド投入)をしてほしい。
- ・ スクールバス(混乗便)午後1便増やしてほしい。
- ・ 水道施設の維持管理を市でやってほしい。
- ・ 高齢者対策。
- ・ 滝川市立病院の予約が午後からしか取れない、滝川便の出発を30分遅らせられないか？
- ・ 浜益高校募集停止、区外通学の補助が5年で切れる。延長を。
- ・ 農業を初め、1次産業への市独自の補助を望む。
- ・ 国道から集落までの街灯が切れても修理に日数がかかる。街灯も増やしてほしい。
- ・ 漁業者に対する市独自の融資。
- ・ 高齢者が多い地区なので安否確認が必要。市職員が定期的に廻っては？
- ・ 市道側溝の蓋がない箇所がかなりある、車がよく落ちる。
- ・ 住民票などの交付(配布)サービス。

3) その他意見欄

- ・ 交通手段の確保。
- ・ 地区の高齢化が心配。
- ・ 葬儀が地元でできない。
- ・ 老人ホームに入るにしても年金で賄えるといいが、...
- ・ 知らないことが多く(広報なども分かりづらい)、教えてくれる人がいない。
- ・ 密漁者多い。行政で遊泳禁止の看板を立ててほしい。

3 自治会長への個別調査結果

雄冬自治会（世帯数4戸、6人、平均年齢73.00歳）

自治会運営について

- ・ 増毛町雄冬自治会に加入している。（会費を納入している。）
- ・ 加入戸数 浜益地区雄冬 3戸
増毛地区雄冬 48戸
- ・ 70歳未満は2～3人
- ・ 葬儀は増毛の集落センターで実施している。
- ・ 葬儀の手伝いは増毛町雄冬地区会員と一緒に、全般において特に不便はない。
- ・ （現在の居住地に）そのまま住みたい気持ちが強く、（浜益地区の）自治会統合については考えていない。

市役所（支所）に望むこと

- ・ 公共交通を便利にしてほしい。（区内のバス増便）
- ・ 沿岸バスが千代志別に停まってほしい。（千代志別の人が増毛まで来て乗車している。）
- ・ 越波による通行止めが多すぎるので改善して減らしてほしい。

千代志別自治会（世帯数10戸、14人、平均年齢71.86歳）

自治会管理水道施設について

- ・ 井戸ポンプが老朽化してきているため交換が必要（約30万円）
- ・ 会員の高齢化により、今後の維持管理に支障をきたすおそれあり。

地域行事（祭り・敬老会・葬儀・その他）

- ・ お祭りは毎年実施している。
- ・ 敬老会は会員の協議により平成18年度より中止。再実施は考えていない。
- ・ 葬儀は会場が狭いため、幌地区の寺や浜益コミセンで行うことを考えている。
- ・ 幌地区で実施する場合は、幌自治会に協力をお願いしようと考えている。
- ・ コミセンで行う場合は葬儀社へのお願いを考えている。

自治会の統合について

- ・ 会員が少なくても、地域がまとまっているので統合は考えていない。

市役所（支所）に望むこと

- ・ 札幌までバスを利用する場合、幌まで行かなければ乗車できず苦勞しているの、沿岸バスに停車していただけないか。
- ・ 越波により度々通行止めになるが、地域で急患が発生した場合の対応が心配。
- ・ スクールバス（混乗便）を午後1便増やしていただけないか。

床丹自治会（世帯数 10 戸、11 人、平均年齢 78.09 歳）

自治会管理水道施設について

- ・ 年間の通常経費 175 千円（電気料 160 千円、薬品 15 千円）については各世帯より集金している料金（月 2,000 円×7 世帯）でほぼ賄えるが、施設の修繕が発生した場合の費用の捻出が困難である。

地域行事（祭り・敬老会・葬儀・その他）

- ・ お祭り、敬老会は自治会全員の参加で毎年実施している。
- ・ 葬儀は地元で行う場合は千代志別自治会に協力をお願いする。
- ・ 幌地区の寺で行う場合は幌自治会に協力をお願いする

自治会の統合について

- ・ 平成 10 年に幌自治会と統合について協議を行った経緯はあるが、統合を前提とする協議ではなかった。
- ・ 仮に幌自治会と統合する場合は、千代志別地区と一緒に統合を考えているので、当面は単独で運営していくつもりである。

市役所（支所）に望むこと

- ・ 地域として安定した飲料水を確保できるかが心配であるため、幌地区から簡易水道の拡張を検討していただけないか。
- ・ テレビ共同受信施設（NHK 共同受信施設）の地上デジタル化については、1 世帯あたり約 62 千円程度の負担となるが、会員の了解を得ている。（平成 9 年から組合費を徴収していないため全額個人負担となる。）

御料地自治会（世帯数5戸、15人、平均年齢52.93歳）

地域行事（祭り・敬老会・葬儀・その他）

- ・ お祭り、敬老会を同日に実施している。
- ・ その他に会館の清掃等に合わせ、年3回程度会員で懇談会を行っている。
- ・ 葬儀は実田会館を利用。手伝いは当自治会と実田黄金沢地区の班の協力を得ている。

自治会の統合について

- ・ 実田自治会長と何回か協議したことはあるが、当地区で運営できるうちは頑張っ
てほしいと激励されているので、当面は単独で運営して行くつもりである。
- ・ 高齢者は仮に統合した場合には行事に参加するのが難しいことから統合は望んで
いないが、若い人からは統合してはどうかとの意見もある。

市役所（支所）に望むこと

- ・ 会館屋根の雪下ろしが困難になってきた。
- ・ テレビ難視聴地区で共同受信施設（自主共同受信施設）により受信しているが、
地上デジタル放送を受信するために多額の改修費が必要となることから、市の支
援をお願いしたい。

送毛自治会（世帯数 1 1 戸、2 3 人、平均年齢 71.26 歳）

自治会管理水道施設について

- ・ 維持管理費（電気料、薬品、小修繕）については自治会で可能。
- ・ 会員が高齢になり、今後の維持管理が不安。
- ・ ろ過地が設置後 1 2 年経過しており、砂・砂利等の取替え時期に来ているが、費用がどれくらいかかるか不安。

地域行事（祭り・敬老会・葬儀・その他）

- ・ お祭りは平成 17 年から実施していない。
- ・ 敬老会も会員の協議により平成 13 年より中止。（再実施の要望はない。）
- ・ 自治会員での葬儀実施が難しいため、子どもや親戚のいる地区で実施している。
- ・ 地区で実施する場合は濃昼地区の人の手伝いを依頼することも考えている。

自治会の統合について

- ・ 特に考えていない。
- ・ 平成 13 年から会長及び会計を選出できないでいる。（現在は会計が会長を代行している。）
- ・ 居住している若者が非協力的である。

市役所（支所）に望むこと

- ・ 国道から地区手前までの間に市管理の街灯が 8 箇所設置されているが、夜間の安全歩行のために新たに 3 箇所程度設置していただきたい。

4 調査結果のまとめ

1) 地域ニーズについて

全ての地区で、生活するうえで困っていることに「交通が不便」を挙げていることから、高齢者にとっての交通手段の維持・確保が求められている。

自治会で管理している水道施設も老朽化や役員の高齢化により、管理運営に大きな支障をきたしている。市の対応を望む声も多い。

このため、簡易水道施設が整備されていない地区（千代志別、床丹、送毛）の住民が感じている水道施設の安全性への不安を取り除く方策が必要である。

その一方、「困っていることが特にない」と回答した世帯に表されるように、将来への不安は感じているものの、多少の不便さは甘受しており、生まれ育った地域での生活を楽しんでいる世帯が多い。

今回調査世帯の全てが、現在居住する地区に住み続けたいと考えており、都市部への移転を考えている世帯はない。永年住み慣れた地区への強い愛着が感じられる。

2) 今後の対応について

今回の聴き取り調査結果を踏まえ、今後とも小規模集落に住む人々が安全で安心して生活できる環境を維持していくとともに、要望・意見については関係機関、関係各部に対し、実現化に向けた働きかけが必要である。